

# 夏秋キュウリ栽培における病害防除のための散布薬剤の使用法

(園試 環境部)

## 1. 背景とねらい

夏秋キュウリ栽培では、多種類の病害が発生するので、それらに対応した的確な防除が必要であるが、実際の防除は、防除暦に従った慣習的な防除が実施されている事例が多い。一方最近の傾向として、新たに登録と取得する薬剤は、ある病害に対して特効的効果を示す反面、それ以外の病害には効果があるとともに、薬剤特性からみて耐性菌の出現が懸念されるので、これらを改善するため、既往の成績をもとに防除体系を作成した。

## 2. 技術内容

### 1) 時期別基本防除薬剤

時期	主要病害の発生状況				基本防除薬剤 ( )内は希釈倍数、剤型は水和剤
	べと病	うどんこ病	斑点細菌病	黒星病	
6月上旬	-	-	○	○	ビスグイセン(600)
中旬	△	-	○	○	ドーゼブ(600)
下旬	○	-	○	○	銅(500)+ダコニール(1200)
7月上旬	○	-	△	△	上記薬剤(6月期)の他、ダコニール(600)、
中旬	○	-	△	△	リドミルMZ(1000)、サンドファンC(750)
下旬	○	○	-	-	ダコニール(600)
8月上旬	○	○	-	-	バイレトン(4000)+ダコニール(1200)
中旬	○	○	-	-	モレスタン(4000)+ダコニール(1200)
下旬	○	○	△	△	ポリペリン(2000)+ビスグイセン(600)
9月上旬	○	○	○	○	上記薬剤(8月期)の他
中旬	○	○	○	○	銅(500)+ダコニール(1200)
下旬	○	○	○	○	銅(500)+バイレトン(4000)

発生程度 ○多 ○中 △少 -極めて少

### 2) 適用地域：主として采中南部

## 4. 参考文献・資料

1) 昭和54~61年度 右手園試「園芸作物の病害虫に関する試験成績」

## 5. 試験成績

表1 キュウリべと病に対する各種薬剤の防除効果

試験年次	供試薬剤	希釈倍数	散布開始・間隔・回数	発病葉率	発病度	薬害
61年						
	サンドファンC水和剤	500	7/1 ~ 10	4	0.2	<0.1 ±
	サンドファンM水和剤	750	" "	"	0.6	0.1 -
	リドミルMZ水和剤	750	" "	"	0	0 -
	ダコニール	600	" "	"	2.4	1.0 -
	ダコニール	600	" 7	5	0.6	0.1 -
	無散布				59.9	15.4

### 3. 指導上の留意事項

1) 防除は1週間に1回の割合で、左表より薬剤を選択し、予防的に散布する。

2) 6月は定植期であり、低温多雨に経過すると斑葉細菌病や黒星病が多発する。銅剤は葉害を発生させることがあるので、斑葉細菌病の発生が多くなりそうな場合にだけ散布する。

3) 7月はべと病中心の防除となるが、発生してから防除は手遅れなので、初発を予想して予防散布が必要である。なお月後半にはうどんこ病の初発が確認される。

4) 8月うどんこ病の急増期に加えて、降雨のたびにべと病が発生するので、同時防除が必要となる。

5) 9月うどんこ病・べと病のほか、低温多雨に経過すると黒星病や斑葉細菌病も発生するので、これらに対する防除も考慮する。

表2 総合防除試験 I

供試薬剤	希釈倍数	黒星病 発病果率	うどんこ病		べと病	
			発病葉率	発病度	発病葉率	発病度
	倍	%	%	%	%	%
トリアジン水和剤	600	10.1	46.5	15.2	80.7	27.2
Zボルドウ	500	29.1	39.0	13.8	71.4	23.2
トリフミン水和剤	3000	19.0	15.0	3.9	83.0	44.7
ダコニール	600	9.8	19.5	5.0	32.6	8.4
無散布		56.1	84.0	65.2	90.7	49.7

表3 総合防除試験 II

供 試 薬 剤 水和剤、( )は希釈倍数	うどんこ病		褐斑病
	発病葉率	発病度	発病葉率
	%	%	%
バイレトン(4000)	6.0	1.9	42.5
バイレトン(4000)+ダコニール(1200)	1.5	0.4	2.0
バイレトン(4000)+サンヨール(1000)	5.0	1.3	62.0
バイレトン(4000)+Zボルドウ(500)	11.0	2.9	58.5
Zボルドウ(500)+ダコニール(1200)	15.0	4.2	11.5
Zボルドウ(500)	69.0	48.2	73.5
ダコニール(600)	30.0	13.3	8.5
モレスタン(2000)	12.5	5.6	86.5
アリエッティC(600)	87.0	65.2	36.5
キノンドー(800)	62.5	32.9	26.0
無散布	87.0	73.9	80.5